



秋田市医師会立

秋田看護学校

学校案内 School Information





秋田看護学校 学校長

湊 元 志

Minato Motoyuki

学校長挨拶

Message from The president

本校は昭和39年4月に秋田県医師会付属の准看護学院として開校しました。その後いくつかの変遷を経て、平成18年に3年課程の看護学校となり新しく秋田市医師会立秋田看護学校としてスタートを切りました。この間50年以上にわたり、多くの看護師、准看護師を輩出してきました。そしてその卒業生たちは、県内の多くの病院で活躍し、秋田県の医療に欠くことのできない重要な存在になっています。

本校は医師会立という名のとおりに秋田市医師会の会員や市内の医療機関の全面的な協力を得て内容の充実した講義や実習を行っており、最近の看護大学、看護学部の乱立の中、それらに負けない本当に実力のある看護師を育成していくために努力しています。その結果として、毎年高い看護師国家試験の合格率を誇っています。

令和4年度より全面的にICT教育を取り入れ、生徒全員が個人のPCを所有し、教科書もデジタル化し効率的な学習ができる環境を整えています。また同じく令和4年度より新カリキュラムへと移行しより重要な項目を深く学べるようになりました。

充実した環境で、あこがれの看護師を目指し本校で学生生活を送ってはいかがでしょうか。皆さんが楽しく充実した学生生活を送れるように、教職員一同最大限の支援と努力をいたします。

沿革

History

昭和39年4月	秋田県医師会付属准看護学院開校
昭和53年3月	秋田県医師会付属准看護学院閉校 設置主体が県医師会から市医師会に移管
昭和53年4月	秋田市医師会立秋田准看護学院開校
昭和54年4月	土手長町の旧校舎から八橋の新校舎に移転
昭和57年4月	秋田市医師会立秋田高等看護学院開校
平成17年4月	秋田市医師会立秋田准看護学院募集停止
平成18年3月	秋田市医師会立秋田准看護学院閉校
平成18年4月	秋田市医師会立秋田看護学校に名称変更 第1看護学科（3年課程・全日制）開設
平成21年3月	第2看護学科（2年課程・昼間定時制）廃止
平成21年4月	第1看護学科を看護学科に名称変更 医療専門課程、全日制（3年課程）として運営

入学者受入方針

Admission Policy

本校では次のような人を求めています。

1. 人が好きで、看護師になりたいという目的が明確な人
2. 基礎能力がある人
3. 誠実で協調性があり探究心がある人
4. 主体的に行動できる人
5. 危機感を持てる人

教育理念

Educational Philosophy

豊かな感性と知性を有し、生命と人格を尊重する思いやりに満ち、秋田県のみならず広い社会の保健・医療・福祉に貢献できる高い能力と行動力のある人を育成することを目指す。

教育目的

豊かな人間性と医療人としての精神を育成し、科学的に判断する能力を養い、看護師としての専門知識と技術を修得させ、専門職業人として地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護師を育成する。

教育目標

1. 生命を尊重し、人格を思いやることのできる豊かな人間性を身につけることができる。
2. 生命の安全を保障するために必要な専門知識・技術・態度を基盤に看護を実践することができる。
3. 地域社会に関心を持ち、すべての保健・医療・福祉の分野に貢献できる。
4. 自主的かつ継続的に自己啓発できる。



学科・定員

◎ 定員 / 1 学年 40 名 / 120 名
(3 年課程・全日制)

卒業後の進路

就職率 100% です。秋田市内外の医院、
中堅病院、総合病院などに就職しています。

卒業後の資格

- ・看護師国家試験受験資格が得られます。
- ・保健師・助産師学校の受験資格が得られます。
- ・専門士称号が得られます。
- ・4年生の看護大学、編入学の資格が得られます。

教育課程

	教育内容	授業科目	単位
基礎分野	科学的思考の基礎	情報リテラシー	1
		生物学	1
		論理学	1
		教育学	1
		英語	1
	人間と生活社会の理解	人間関係論	1
		文学	1
		心理学	1
		カウンセリング	1
		社会学	1
		倫理学	1
		スポーツ科学	1
		家族関係論	1
		看護におけるホスピタリティ	1
小計	14		
専門基礎分野	人体の構造と機能	からだの仕組みと働きI	1
		からだの仕組みと働きII	1
		からだの仕組みと働きIII	1
		形態機能学	1
		生化学	1
		栄養学	1
		微生物学	1
		病態学総論	1
	疾病の成り立ちと回復の促進	呼吸器の病態論	1
		循環器の病態論	1
		消化器の病態論	1
		腎・泌尿器の病態論	1
		内分泌・代謝・造血の病態論	1
		脳神経の病態論	1
		運動器の病態論	1
		生殖器の病態論	1
		小児の病態論	1
		精神の病態論	1
		薬理学	1
	健康支援と社会保障制度	健康科学	1
		公衆衛生学	1
		社会福祉	1
		チーム医療論	1
		関係法規I	1
		関係法規II	1
小計		25	
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1
		看護倫理	1
		看護研究概説	1
		フィジカルアセスメント	1
		基本的技術I	1
		基本的技術II	1
		看護過程	1
		日常生活の援助技術I	1
		日常生活の援助技術II	1
		診療の補助技術I	1

	教育内容	授業科目	単位
専門分野	基礎看護学	診療の補助技術II	1
		基礎看護学実習I	1
		基礎看護学実習II	1
		基礎看護学実習III	2
	地域・在宅看護論	秋田を知る	1
		暮らしの理解	1
		地域・在宅看護概論	1
		暮らしと環境	1
		健康と暮らしを支える技術	1
		健康と暮らしを支える看護	1
		地域・在宅看護論実習I	2
		地域・在宅看護論実習II	2
	成人・老年看護学	成人・老年期の生命の危機にある人の看護	1
		成人・老年期の生を支え再構築する看護	1
	成人看護学	社会の中の成人看護	1
		がんとともに生きる成人看護	1
		生きているための成人看護	1
		生きていくための成人看護	1
		成人看護技術	1
		老人・老年期の周手術期実習	2
		成人期の健康管理実習	1
		成人期の慢性・終末期実習	2
	老年看護学	高齢者を支えるための看護	1
		健康障害をもつ高齢者の回復を促す看護	1
		高齢者のより健康な生活を支援する看護	1
		老年看護学実習	2
	小児看護学	社会の中でともに育つ子ども	1
		健康障害をもつ子どもとその家族	1
		子どもの病気と看護	1
		子どものケア	1
	母性看護学	小児看護学実習	2
		母性看護学概論	1
		周産期ケア論	1
母性看護技術		1	
精神看護学	周産期の健康逸脱と看護	1	
	母性看護学実習	2	
	精神看護学概論	1	
	精神看護技術	1	
看護の統合と実践	精神の健康障害と看護	1	
	精神障害者の日常生活援助	1	
	精神看護学実習	2	
	国際看護	1	
看護の統合と実践	災害看護	1	
	看護マネジメントと医療安全	1	
	看護の統合	1	
	看護の統合と実践	2	
	小計	66	

105単位 3000時間

教育課程の特徴

- ・電子教科書を導入している授業科目があります
- ・地域を知る学習が増えました
- ・領域を横断して学習する「成人・老年看護学」を設けています



「暮らしの理解」でキリタンポづくり

●地域・在宅看護論

地域・在宅看護論には、授業科目として「地域・在宅看護論」のほか、「秋田を知る」、「暮らしの理解」、「暮らしと環境」などの地域を学ぶ授業があります。



秋田市民俗芸能伝承館で竿燈の小若を上げる
1年次生(「秋田を知る」)のフィールドワーク

主な臨地実習施設

病院での実習は、主に基礎看護学実習、成人看護学実習、老年看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習を行います。



● 秋田厚生医療センター



● 市立秋田総合病院



● 秋田緑ヶ丘病院

4月

● 領域実習開始

学校生活

● 入学式



入学式

5月

● 交流会



交流会

● フィールドワーク



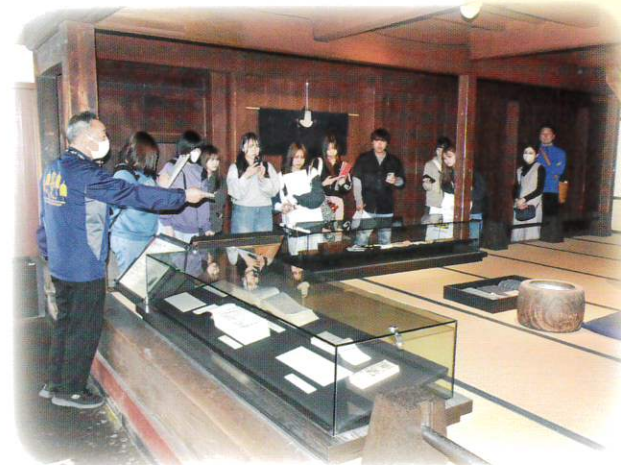
フィールドワーク(市民市場で)



就職合同説明会

6月

● 就職合同説明



フィールドワーク(旧金子家住宅で)



電子教科書による授業



交流会



図書貸出し



学校説明会(看護実習室で)



学校説明会(講堂で)



学校説明会(看護実習室で)

7月

● 学校説明会
(高校生)

● 学校説明会
(社会人)

● 基礎看護学実習I

● 学校祭

● 夏期休業

8月



学校祭



防災訓練(シェイクアウト)

9月

10月



フィジカルアセスメント

11月

● 基礎看護学実習Ⅱ



母性看護学(沐浴練習)

12月

● 卒業研究発表会



成人看護学方法論演習



卒業研究発表会



クリスマスツリーを設置



点滴注射の演習



卒業生からの国試アドバイス(教室Ⅲで)



激励会



国家試験帰り「やり切りました!」

● 卒業生からの
国試アドバイス

● 冬期休業

1月

● 激励会



国試合格の報告で記念にパチリ

2月

● 看護師国家試験



卒業式

● 卒業式

3月

在学生からのメッセージ

鈴木 美音さん (3年次生)



本校の強みは、臨床で実際働いている看護師や医師の方々による講義があるため、現場の状況を知ることができること、1学年40人という少人数クラスで先生方から親身な指導を受けられることです。テストや実習が多く、大変なこともあります。先生方や友達の協力を得ながら国家試験合格に向け充実した学校生活を送っています。

三瓶 美沙津さん (1年次生)



私は叔母が病気で入院をしている時に、看護師の方が叔母だけでなく、周囲の人も支えている姿を見て、自分も誰かの力になれる看護師になりたいと強く思うようになりました。この学校には、自分の目標とする看護師像があり、それに少しずつ近づくために思いやりを持ちつつ、知識や技術を習得したいため、進学先にこの学校を選びました。

石川 結さん (3年次生)



私は、とても充実した学校生活を送れています。看護についての知識は勿論、地域に特化した勉強もできるため、地域医療についてたくさん学ぶことができます。実習では、自分が受け持つ患者さんに何ができるかを常に考えながら行っており、分からないことがあれば先生方が丁寧に指導してくれます。辛いことも多いですが、仲間と一緒に高め合いながら毎日頑張っており、少しずつ看護師に近づいているのを実感できていて、この学校に入学して良かったと思っています。

石川 明さん (2年次生)



私が看護師を目指したきっかけは、小学校で怪我をして病院に通院した際に、担当の看護師の方が優しく声をかけてくださったことでした。それをきっかけに私も優しく声をかけたり、寄り添うことができたりする看護師を目指したいと強く思い、姉のいるこの学校を選びました。実習や勉強面では、辛いこと、うれしいことが沢山ありましたが、仲間と一緒に乗り越えることができました。これからも仲間と共に高め合い、頑張っていきたいと思っています。

伊勢屋 侑翔さん (3年次生)



私は、この学校に入学できて良かったと思います。勉強を通して知識や技術を知り、実習を通して看護について理解が深まってきています。また、地域医療に焦点を当てた勉強もできるため、より深い看護を学ぶことができます。毎日充実して楽しいのは勿論、友達と助け合いながら過ごし、分からないことがあれば先生方が優しく指導してくれます。3年生となり、国試に向けて勉強が始まり大変ですが、クラスメイトと共に乗り越えていきたいと思っています。

伊勢屋 愛梨さん (2年次生)



私は以前、病気になって辛く不安だった時に、看護師さんが優しく声をかけてくれたことで安心できたことがあります。この経験から看護師に憧れを抱き、身体面、精神面どちらもケアできる看護師になりたいと思うようになり、この学校で学んでいる兄の勧めもあって、進学先に選んだのがこの学校でした。入学から1年経ちましたが、授業と実習を通して知識・技業を学び、少しずつ看護師に近づいていると思います。

卒業生からのメッセージ



佐藤 ^{ぜん} 禅さん

秋田大学医学部附属病院勤務 (令和5年度卒業)

秋田看護学校での3年間はテストや実習など大変なことも多いですが、同じ目標を持った仲間や先生方のアドバイスのおかげで乗り越えることができました。特に実習は患者さんとの関わり方や援助など不安もありましたが、先生方が手厚くフォローしてくださり、落ち着いて患者さんに関わることができました。

実習や患者さんとの関わりを通して、人間的に成長することができたと感じています。皆さんもこの学校に入学して看護師を目指してみませんか。



佐藤 ^{くるみ} 来実さん

秋田県立循環器・脳脊髄センター勤務 (令和5年度卒業)

看護学校での3年間は実習や課題、試験など大変なことが沢山あり、苦しい時がありました。しかし、クラス全員が同じ目標に向かって、協力し学び合える環境だったからこそ頑張ることが出来ました。個性豊かな仲間と過ごした時間はとても楽しく、また戻りたいと思えるほどです。また、先生方のおかげで一歩ずつ確実に成長できました。

現在は看護師として専門的な看護を日々学んでいます。実習だけでは経験できなかった看護技術など、少しずつ出来ることが増えていることに喜びを感じています。

看護学校での勉強は大変ですが、皆さんも頑張ってください。応援しています。



渋谷 ^{いっか} 乙花さん

市立秋田総合病院勤務 (令和4年度卒業)

3年間を振り返ってみると大変なこともありましたが、楽しいと思える瞬間も沢山ありました。日々の試験や実習、また国家試験に向けての勉強など辛く逃げたくなることもありましたが、クラスメイトと励まし支え合いながら乗り越え、成長していくことができました。先生方は常に私たちのことを気にかけてくださりサポートしてくれました。

看護師になるということは簡単なことではありませんが、仲間と共に切磋琢磨し成長できたことで、この学校に入学し看護師を志してよかったと思っています。ぜひ皆さんもこの学校に入学して看護師になるという夢を叶えてみませんか。



高橋 ^{ひらり} 平莉さん

大曲厚生医療センター (令和4年度卒業)

私は、母が病院で働いていたため、看護師という職業に興味を持ちました。実際に秋田看護学校に入学すると、座学や試験の多さ、実習の大変さに驚きましたが、仲間や先生方からの励ましもあり、最後まで頑張ることができました。

働き始めた今、看護師となった実感とともに責任感をより一層感じ、奮闘する毎日の中、患者さんとの何気ない会話や感謝の言葉が原動力となっています。信頼される看護師になれるよう、今後も頑張っていきたいです。

